



平成 17 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社 幸 楽 苑  
代表者の役職名 取締役社長 長谷川 利弘  
(東証第一部 コード番号 7 5 5 4 )  
問 い 合 わ せ 先 執 行 役 員  
社 長 室 長 室 井 一 訓  
T E L 0 2 4 - 9 4 3 - 3 3 5 1  
<http://www.kourakuen.co.jp/>

## 平成 1 7 年 3 月 期 通 期 の 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

最近の業績動向を踏まえ、平成 16 年 11 月 5 日の中間決算発表時に公表いたしました平成 17 年 3 月 期 (平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日) の通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

### 1. 平成 17 年 3 月 期 連 結 通 期 業 績 予 想 (平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	2 6 , 4 6 3	2 , 2 9 2	1 , 0 5 2
今 回 発 表 予 想 (B)	<b>2 4 , 8 2 5</b>	<b>1 , 5 2 7</b>	<b>6 5 5</b>
増 減 額 (B-A)	△ 1 , 6 3 7	△ 7 6 4	△ 3 9 6
増 減 率	△ 6 . 2 %	△ 3 3 . 4 %	△ 3 7 . 7 %
(ご参考) 前 期 実 績 (平成 16 年 3 月 期)	1 9 , 7 4 6	1 , 8 0 8	8 8 4

### 2. 平成 17 年 3 月 期 単 体 通 期 業 績 予 想 (平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A)	2 5 , 6 1 6	2 , 4 2 6	1 , 1 5 7
今 回 発 表 予 想 (B)	<b>2 4 , 0 5 8</b>	<b>1 , 6 7 8</b>	<b>8 3 8</b>
増 減 額 (B-A)	△ 1 , 5 5 8	△ 7 4 8	△ 3 1 8
増 減 率	△ 6 . 1 %	△ 3 0 . 9 %	△ 2 7 . 5 %
(ご参考) 前 期 実 績 (平成 16 年 3 月 期)	1 8 , 8 7 6	1 , 8 4 2	9 3 5

### 3. 修正の理由

外食産業におきましては、市場規模が伸び悩む中で、個人消費の低迷や出店競争の激化による店舗過剰、店舗間競争により、新規出店による売上高の増収効果も見込めない厳しい状況が続いており、店舗売上高が計画を下回ったため、売上高・経常利益ともに計画未達の見込みとなりました。

ラーメン事業において、直営店舗の売上高については、新規出店計画 71 店舗（当初計画 60 店舗）に対して 71 店舗の新規出店を見込んでおり、新店売上高については、計画達成の見込みであります。また、フランチャイズ加盟店の新規出店については、当初計画 16 店舗に対して、4 店舗となる見込みであります。

その他外食事業において、新規出店については、当初計画 4 店舗に対して、ラーメン事業からの業態転換 1 店舗のみにとどまり、また、既存店売上高については、当初計画を約 7 % 程度下回る見込みであります。

この結果、前回予想の売上高と比較し、連結売上高は 6.2% 程度下回り、単独売上高は 6.1% 程度下回る見込みであります。

経常利益及び当期純利益につきましては、売上高が計画を下回ったことにより、大幅な減少を見込んでおります

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

以 上